

公益社団法人日本ダンススポーツ連盟

事務局通信

(TEL 03-6450-1850)

2023年12月度業務執行理事会(2023.12.23)概要

1. 全日本PDダンススポーツ選手権、全日本PDグランプリカップの競技方法について
2024年以降に開催される表記競技会においては、PD 独自開催、GD 併催開催に関わらず、絶対評価審判方式で実施することになりました。

● 2024年のPDグランプリカップ決勝に

おけるソロ競技種目およびデュエル競技種目は、

ラテンは、ソロ: R(課題有) デュエル: J

スタンダードは、ソロ: T(課題有) デュエル: Q

● 準決勝、決勝における種目順は以下の通り

① 準決勝

ラテン S,C,R,P,J スタンダード W,T,VW,F,Q

② 決勝

ラテン R,S,C,J,P スタンダード T,W,VW,Q,F

● ソロ競技(ラテン:R、スタンダード:T)における12小節で構成される課題フィギュアも決まりました。

ラテン		スタンダード	
S	サンバ	W	ワルツ
C	チャチャチャ	T	タンゴ
R	ルンバ	VW	ヴィエニーズ・ワルツ
P	パソ・ドブレ	F	スロー・フォックストロット
J	ジャイブ	Q	クイックステップ

2. テレビ放送2件

(1) 第74回紅白歌合戦

NHK 郷ひろみさんとブレイキン強化選手および関連ブレイカー数名が出演する予定

2023年12月31日(日曜日)20時頃

(2) 芸能人格付けチェック! 2024 お正月スペシャル

テレビ朝日系列 全国ネット

2024年1月1日(月曜日) 17:00~21:00 放送

3. 第6回アジアインドア&マーシャルアーツゲームズ大会日程の変更

2024年2月から3月にかけて開催する予定だった標記大会は、パリ五輪が間近に迫っていることから、2024年11月21日から30日までに変更されました。

4. スポーツ団体ガバナンスコード<中央競技団体向け>の改定

2023年度において、ガバナンスコードに基づく全中央競技団体への適合性審査が一巡することから、スポーツ庁は、これまでの課題であったコードの実効性の確保の観点から見直しを実施し、10月25日、日本スポーツ協会より、スポーツ団体ガバナンスコード<中央競技団体向け>の改定について通知がありました。

改定のポイントは以下の通り

ポイント① ガバナンスコードに基づく改革に取り組んでいる団体を後押しするため、原則は変更せず

ポイント② 理事となる人材の確保が困難である小規模団体への配慮の仕方や競技横断的な支援の在り方については、「スポーツ政策の推進に関する円卓会議」にて検討

ポイント③ コードの実効性の確保のため、記載の見直し

今後、JDSFとして時期を見て説明会を開催する。

5. 一般財団法人日本スポーツ政策推進機構の一般会員への入会

一般財団法人日本スポーツ政策推進機構(Nippon Sport Policy Commission : NSPC)は、スポーツ界の横断的連携を図る組織として、国、経済界、スポーツ界を連携・協働する場を構築することを目的として2020年に発足したもので、JDSFも一般会員として登録することにしました。

一般会員には、NSPCの事業の遂行に協力することが求められ、会費は無料です。

直近のイベントとして、2024年1月15日に日本スポーツ会議2024が開催され、オンラインでの視聴が可能になっています。

6. パリオリンピック 日本代表チーム 応援ソング

2024年パリオリンピックに向けて、JDSFアンバサダー三浦大知氏、DA PUMP KENZO氏が所属するライジングプロダクションおよびエイベックスと共同で、ブレイキンナショナルチーム応援ソングの作成を、ブレイクダンス本部およびマーケティング本部が主導となって行います。

これらの企画においては、ブレイクダンス本部のオフィシャルパートナーである、東急不動産HDも参画し、東急不動産HDが保有する渋谷のロケーション数箇所を、ミュージックビデオ(MV)の撮影地として使用し、パートナー各社とも連携します。

制作に伴い、強化選手数名がMVに出演する予定です。

完成した楽曲とMVは東急不動産HDのCMソングとしても使用される予定で企画は進行しています。

2024年2月17日(土)、18日(日)に開催される全日本ブレイキン選手権でお披露目の予定。

7. オリンピック・クオリファイヤー・シリーズ 参加予定選手

パリ五輪のブレイキン競技には、唯一男子の半井重幸(Shigekix)選手の出場が内定していますが、その他の出場選手は、5月16日～19日に上海で、また、6月20日～23日にブタペストで開催されるオリンピック・オリファイヤー(予選)・シリーズにおいて決定されます。そこへの出場資格を得た選手は以下のとおり。

■Olympic Qualifier Series event 参加予定選手 (12月18日時点 以降変更になる可能性もある)

※各国3名/性別を最大出場選手数とする。

個人女子			個人男子		
QQS 順位	選手名	所属都道府県	QQS 順位	選手名	所属都道府県
1位	AMI (湯浅亜実) ※アジア選手権にて出場枠獲得	神奈川県	9位	ISSIN (菱川一心) ※年間ポイントにて出場枠獲得	岡山県
4位	AYUMI (福島あゆみ) ※アジア選手権にて出場枠獲得	京都府	17位	HIRO10 (大能寛飛) ※年間ポイントにて出場枠獲得	石川県
6位	RIKO (津波古梨心) ※年間ポイントにて出場枠獲得	沖縄県	-	- ※年間ポイントで出場枠に入る日本人 男子3位がおらず出場権獲得ならず。	-

※万が一日本人女子選手がQQSへ1名出場できなくなった場合は、次のランクの選手が繰り上げになるので、その場合半井彩弥選手が繰り上げで出場権利を獲得することになる。